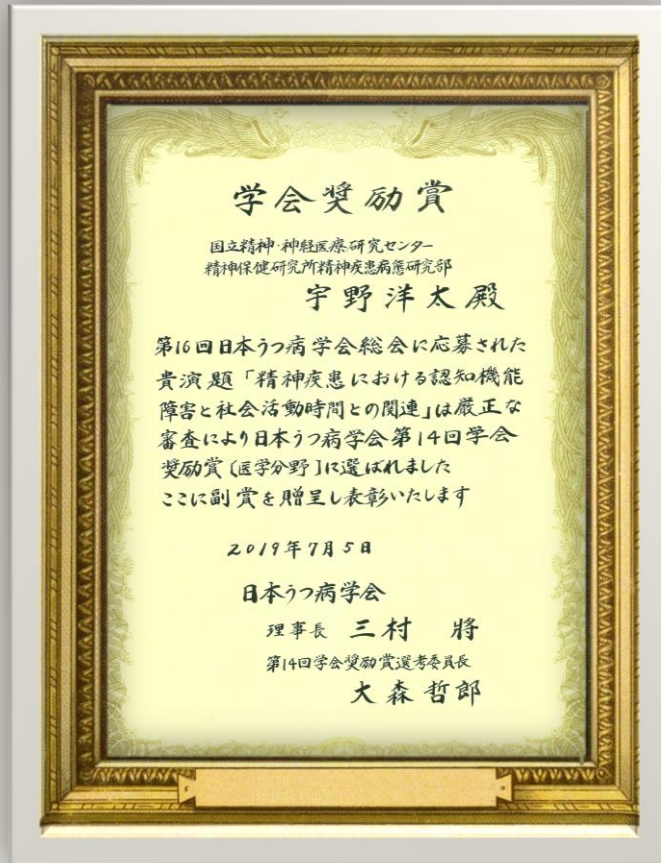


宇野 洋太先生が第16回日本うつ病学会総会において学会奨励賞を受賞！



* 研究の内容 *

精神疾患の症候学的分類では、同一診断下に、生物学的に異種なものも混在し、治療との繋がりは不十分です。したがって疾患横断的に生物学的特徴を捉え直し、治療に繋げる取り組みが求められています。

本研究では、疾患横断的に多くの精神疾患で見られることが知られている認知機能障害と、治療目標のひとつである社会活動時間との関連を調べました。

精神疾患群と健常群とで検討したところ、両群で、認知機能障害・社会活動時間とに統計学的有意差がみられました。また診断名に関係なく、認知機能障害の程度と社会活動時間とに有意差がみられました。

本研究より認知機能障害の程度と社会活動時間とは疾患横断的に関連することが示され、症状より認知機能低下に着目する方が社会活動時間を推定でき、治療戦略上有用かもしれないという新たな知見を得ることができました。